

-(으)ㄴ진대

～であるならば（当然こうすべきだ）

前提から結論を導く古文調です。訓戒や論説で使われます。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄴ진대	하다 → 할진대
パッチムあり	-을진대	있다 → 있을진대
名詞	일진대	사람일진대
後ろ	当然の帰結	마땅히・어찌
近い形	-(으)ㄴ/는 이상	現代語
続けて書く	진대 は語尾	할진대

■ 使い方と注意

前提から結論を導きます。사람일진대 어찌 실수가 없겠는가（人であるならばどうして失敗がないだろうか）。

後ろに当然の帰結が来ます。마땅히（当然）、어찌（どうして）などと組み、「そうである以上こうなるはずだ」という論理を示します。

-(으)ㄴ지언정とは別物です。지언정は「たとえそうでも」という譲歩、진대は「そうであるならば」という前提。形が似ていますが働きが違います。

現代語では -(으)ㄴ/는 이상が対応します。4級の項目です。

■ 例文

- 1 이치가 그러할진대 어찌 달리 하겠는가.
道理がそうである以上、どうして別のようにできようか。
- 2 뜻이 있을진대 반드시 길이 있으리라.
志がある以上、必ず道はあるでしょう。
- 3 사람이 바를진대 그림자가 굽을 리 없다.
人が正しい以上、影が曲がるはずがありません。
- 4 배움을 귀히 여길진대 스승을 공경할 일이다.
学びを貴ぶ以上、師を敬うべきことです。
- 5 손수 만들진대 그 정성을 어찌 값으로 매기랴.
手ずから作る以上、その真心をどうして値で計れようか。
- 6 근본이 굳을진대 흔들릴 까닭이 없다.
根本が固い以上、揺らぐ理由がありません。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ지언정
「たとえそうでも」という譲歩です。진대は前提の提示で働きが違います。
굽을지언정（譲歩） / 사람일진대（前提）

-(으)ㄴ/는 이상
4級の項目で「以上」です。진대の現代語版に当たります。
시작한 이상（現代） / 시작하였을진대（古文）

-(으)면
単純な条件です。진대は当然の帰結を導きます。
있으면（条件） / 있을진대（前提と帰結）

■ まちがえやすい点

- X 할진대
○ 할진대
語尾なので続けて書きます。
- X 사람진대
○ 사람일진대
名詞には 일진대 をつけます。
- X 친구야, 그럴진대 하자.
○ 친구야, 그러면 하자.
日常会話では使いません。